

平成 19 年 6 月 6 日

厚生労働大臣
柳 沢 伯 夫 様

社団法人 北海道消費者協会
会 長 辻 富 美 子

20カ月齢以下のBSE（牛海綿状脳症）検査補助の継続
に関する要望

平成13年に国内初のBSE牛が確認され、国は消費者の牛肉に対する不安を払拭し、食の安全性を確保する観点から月齢20カ月以下の牛について検査補助を行い、全頭検査を実施してきました。このことにより、消費者は安心して国産牛肉を選択することができました。

この度、国は「平成20年7月末で月齢20カ月以下のBSE検査補助を打ち切る」との報道がされました。

しかし、月齢20カ月以下の牛肉が相当量を占め、かつ、牛のBSEの発生原因や感染経路・発症のメカニズムがいまだ解明されていない中で、未検査の牛肉が販売されることになれば、消費者は大きな不安を抱きます。また、一部の県では全頭検査を継続するとしており、店頭で検査済みの牛肉と未検査のものが販売されることは、消費者が検査牛か否かの選択で混乱を招くとともに、偽装表示も懸念されます。

つきましては、これらの状況を回避し、より一層食の安全性を確保するため、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 国は、20カ月齢以下のBSE検査を実施している自治体に対する検査費用の補助を継続すること
- 2 BSEの発生原因や感染経路・発症のメカニズムの解明をすること

平成 19 年 6 月 6 日

北海道知事

高橋はるみ様

社団法人 北海道消費者協会
会長 辻 富美子

20カ月齢以下のBSE（牛海綿状脳症）検査の継続に関する要望

平成13年に国内初のBSE牛が確認され、国は消費者の牛肉に対する不安を払拭し、食の安全性を確保する観点から月齢20カ月以下の牛について検査補助を行い、全頭検査を実施してきました。このことにより、道民は安心して国産牛肉を選択することができました。

この度、国は「平成20年7月末で月齢20カ月以下のBSE検査補助を打ち切る」との報道がされました。

しかし、月齢20カ月以下の牛肉が相当量を占め、かつ、牛のBSEの発生原因や感染経路・発症のメカニズムがいまだ解明されていない中で、未検査の牛肉が販売されることになれば、消費者は大きな不安を抱きます。

また、一部の県では全頭検査を継続するとしており、店頭には検査済みの牛肉と未検査のものが販売されることは、都府県に比べて、20カ月齢の雄のホルスタイン育成牛の生産が特に多い北海道においては、道産牛肉に対する不信が増大するなど、その影響は極めて大きいものと考えます。

つきましては、これらの状況を回避し、より一層、クリーン農業を推進し、食の安全性を確保するためにも、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 道は、20カ月齢以下のBSE検査を今後も実施すること
- 2 BSEの発生原因や感染経路・発症のメカニズムの解明をすること